

大光議員の「伊達市水道ビジョンについて」の、「強靱「災害に強い水道システムの構築」について」のうち、「施設・管路の耐震化整備について」のご質問からお答えいたします。

施設につきましては、現在、北黄金浄水場の整備を進めております。

また、管路につきましては、重要度の高い直径 150 ミリメートル以上の管路より、順次更新を進めております。

次に「老朽施設の更新について」であります。平成 23 年度に策定したアセットマネジメント計画により、管路やポンプ施設の計画的な更新を進めております。

次に「危機管理体制の強化について」であります。伊達管工事業協同組合との間で「大規模災害時における水道の応急活動に関する協定」を締結しております。

また、「危機管理マニュアル」を基に、応急給水訓練を定期的に行い、他団体で実施する訓練にも参加しております。

次に「持続「健全で持続可能な事業運営」について」のうち、「漏水量の軽減について」であります。配水量の監視や漏水調査を実施し、漏水箇所の修繕を実施しております。

次に「技術継承のシステムづくりについて」であります。技術的な問題や課題については、全体で話し合い、知識の共有や後進の育成に努めております。

また、研修会や講習会にも積極的に参加しております。

次に「官民連携・広域連携について」であります。北海道主催の意見交換会に参加し、情報共有を図っております。

次に「財政状況の把握と経営について」であります。北海道電力株式会社伊達発電所の休止に伴い、今後は収入の大幅な減収が見込まれることから、経費の見直しやアセットマネジメント計画の見直しを行うとともに、料金改定も視野に入れ、「伊達市水道事業経営戦略」の改定を進めて参ります。